

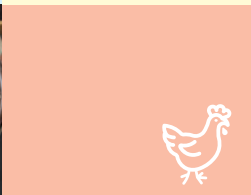
# 第2期 中間報告書

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日



伊藤ハム米久ホールディングス株式会社  
ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.

証券コード 2296



## トッピメッセージ

株主の皆様には平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
第2期中間報告書の発行にあたり、業績の進捗についてご説明いたします。

当社グループは、伊藤ハム株式会社と米久株式会社の経営統合による発足から2年目を迎え、昨年11月に公表した「中期経営計画2020」～ネクストステージへ～に基づき、「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」の理念の下、経営基盤の強化をさらに進めております。

代表取締役社長 宮下 功



## 当第2四半期の業績の概要

- ハム・ソーセージは、ブランド力の強化に取り組んだ結果、販売数量、売上高ともに増加しました。
- 調理加工食品は、消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化しチキン商品が好調に推移しました。
- 食肉は、国内事業における販売数量の増加や輸入鶏肉の相場高等により、売上高、営業利益ともに増加しました。

伊藤ハム、米久の主要トピックスはP3-4へ

## 業績の振り返り

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が継続しております。

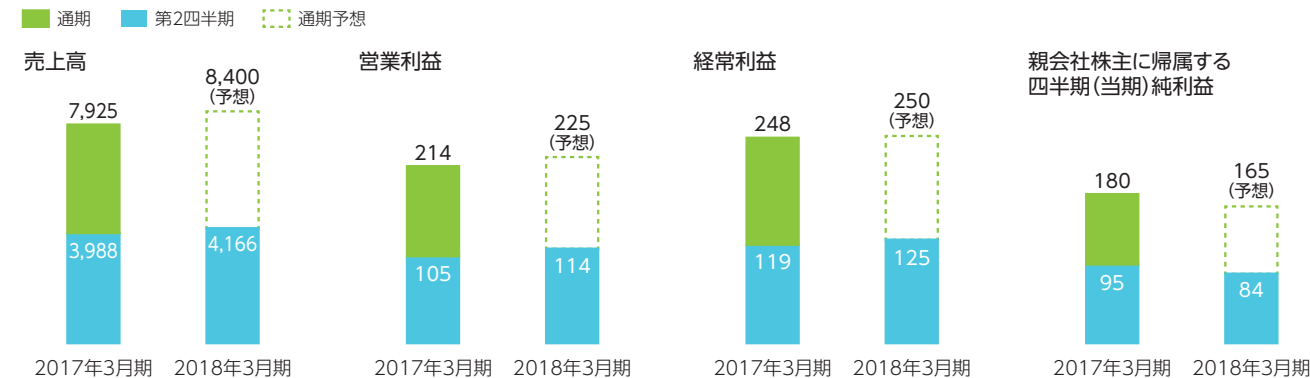
当業界におきましては、食料品等の日常生活品に対する消費者の低価格志向は依然根強く、企業間競争が激化する中、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の業

績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて177億59百万円増加して4,166億37百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。営業利益は、前年同四半期に比べて9億21百万円増加し、114億34百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて5億94百万円増加し、125億52百万円(前年同四半期比5.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて、投資有価証券売却益の減少等により11億8百万円減少し、84億18百万円(前年同四半期比11.6%減)となりました。

### 財務ハイライト

(単位:億円)



### 「中期経営計画2020」 ～ネクストステージへ～

2020年度には売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3%以上の業績目標を達成して名実ともに食品リーディングカンパニーとなるためグループ一丸となって取り組んでおります。

#### 業績目標

(単位:億円)

##### 2020年度計画

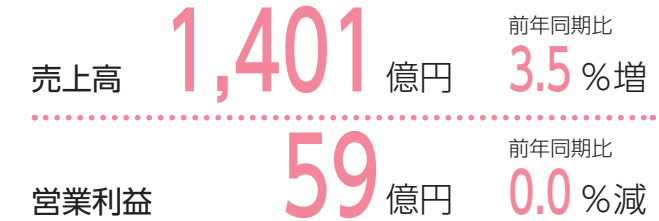
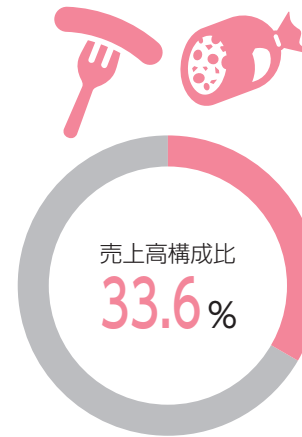
売上高	▶ 10,000
経常利益	▶ 300
経常利益率	▶ 3.0%

##### 売上高内訳

調理加工食品	▶ 2,000
ハム・ソーセージ	▶ 2,000
食肉	▶ 6,000

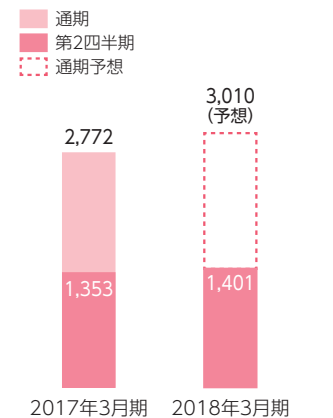
## 主要事業別の概況

### 加工食品事業

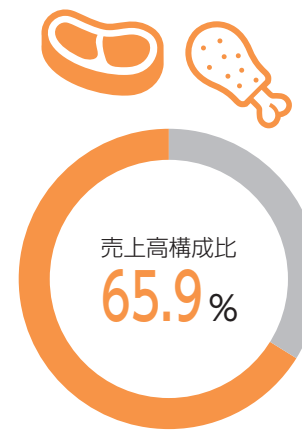


- 「The GRAND アルトバイエルン®」「朝のフレッシュ® シリーズ」「ポークピッツ®」「御殿場高原®あらびきポーク」を対象にテレビCMの投入や消費者キャンペーンを実施しブランド力を強化
- 消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化し「サラダチキン」などのチキン商品が好調に推移
- ピザ・スナック類、ハンバーグ類や中華惣菜等についても拡販に努めた結果、販売数量、売上高ともに増加

#### 売上高 (単位:億円)

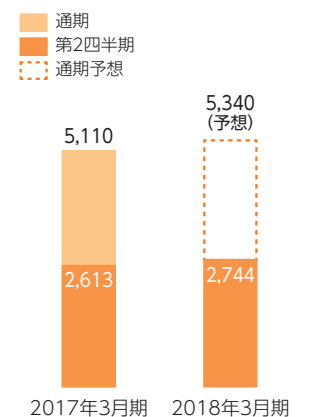


### 食肉事業



- 国内事業は輸入牛肉のチルドビーフを中心とする販売数量の伸長や輸入豚肉のオリジナルブランドの拡販、輸入鶏肉の相場高により売上を伸ばし販売数量、売上高ともに増加
- 海外事業はアンズコフーズ社がニュージーランド全体の牛処理頭数減少の影響を受け、販売数量、売上高ともに減少

#### 売上高 (単位:億円)



## ■ 伝統を誇る贈り物「伝承」

～今歳暮も松本幸四郎氏にお薦めいただきます～

伊藤ハムは『伝統を誇る贈り物「伝承」』をキャッチフレーズに、2017年度のお歳暮ギフトを販売します。昨年歳暮より歌舞伎界から九代目松本幸四郎氏をお迎えし、創業八十余年にわたる“伝統”“歴史”“ハムづくりの想い”を伊藤ハムトップブランドである「伝承」を通じてお伝えいただいています。今歳暮もテレビCMから屋外広告、店頭販促に至るまで、一貫したプロモーション戦略を展開し、お客様に“大切な方への贈り物”にふさわしいギフトとしての魅力をお伝えします。ハム・ソーセージギフトでは「伝承」を最重要点に注力するとともに、調理品ギフトにおいては今注目の料理人笠原将弘氏監修による「賛否両論」を柱としてギフト市場の拡大を牽引していきます。



「伝承」を今歳暮も九代目松本幸四郎氏にお薦めいただきます



「賛否両論」シリーズ  
(豚の角煮3本セット)



注目の人気料理人  
笠原将弘氏監修の  
こだわりの和食ギ  
フト「賛否両論」

## ■ 伊藤ハム ユニセフ支援活動

伊藤ハムは、2008年度から食を通じて社会に貢献するため毎年1月から2月にかけて販売される対象商品の売り上げの一部を、ユニセフへ寄付する活動を行っています。2015年度からは、アジアの子どもたちに教育の機会を提供することを目指す「子ども未来プロジェクト」を実施しており、本年4月には12,112,200円をユニセフへ寄付しました。今後もプロジェクトを通じてユニセフを支援し、お客様の善意を、アジアの子どもたちにお届けします。



贈呈式の様子 左から伊藤ハム 柴山社長、  
日本ユニセフ協会 早水専務理事



2016年度対象商品(一部)



チーズイン®



ロイヤルボール®  
ウインナー

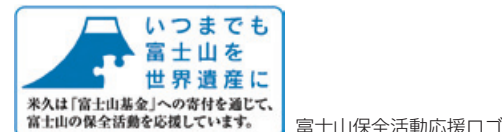
# 伊藤ハム × yonekyu

第2四半期

主要トピックス



贈呈式の様子 左から米久・野口常務執行役員、御園生社長、  
富士山世界遺産国民会議・武田事務局長、茨木事務局長代理、  
米久・野澤常務執行役員



富士山保全活動応援ロゴ



御殿場高原®  
あらびきポーク



肉だんご  
甘酢だれ2袋付



## ■ 「富士山基金」寄付活動

米久は8月28日、認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が運営する「富士山基金」に対し、富士山の標高3,776メートルにちなみ3,776,000円の寄付を実施しました。この寄付金の一部は、富士山の環境保全・保護活動、訪問者への案内・啓発活動などに使用されています。主力商品である「御殿場高原®あらびきポーク」や「肉だんご 甘酢だれ2袋付」などを対象商品としており、商品パッケージや米久ホームページ上にて消費者の皆様にお伝えしています。

## ■ 5つの 消費者キャンペーンを 実施しました

米久は、コンシューマ商品の拡販とブランド認知拡大に向けた取り組みのひとつとして、上期に計5回の消費者キャンペーンを実施しました。4月と9月には、5,000円分のQUOカードや米久ギフトセットが当たる大型キャンペーンを実施。6月には、ハム・ソーセージなど朝食向け商品と、肉だんごなどの夕食向け商品を対象とした2つのキャンペーンを同時期に実施。8月にはBBQ・焼肉食材需要を喚起する黒毛和牛ロース1kgが当たるキャンペーンを実施しました。

## 伊藤ハムと米久のおいしいPR届けます

### テレビCMご紹介



The GRAND アルトバイエルン®の最大の特長であり、熟成によるおいしさをお伝えるため、10月9日を“熟成の日”と決めました。熟成キャンペーン実施の告知とともにCMを放映しお客様にアピールいたしました。その他、いとうあさこさんを起用した朝のフレッシュ®シリーズやポーグビッツ®、チーズイン®といった主力商品の商品特長をテレビCMを通じて、お客様へお伝えしてまいりました。



テレビCM「熟成の日」  
公開中!

テレビCMや  
レシピなど詳しくは  
こちらのQRコードから簡単アクセス!



2017年度新たに、俳優の松重豊さんを起用した御殿場高原®あらびきポークのテレビCMを放映開始いたしました。商品のおいしさをPRすることで新規購入者を開拓し、取り扱いエリア・売り上げシェアの拡大につながりました。また、6月にはジューシー感を向上させる商品リニューアルも行っております。今後も、商品の魅力をより積極的に広めてまいります。



新作動画  
殿が味わう  
「グルメな昼飯」  
公開中!

テレビCMや  
レシピなど詳しくは  
こちらのQRコードから簡単アクセス!



### 会社概要

商号	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 (英文名: ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.)
事業内容	食肉加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売、調理加工食品、惣菜類の製造及び販売などを行うグループ内傘下子会社の経営管理及びこれに付帯する一切の業務
本社所在地	東京都目黒区三田1丁目6番21号
設立	2016年4月1日
資本金	300億円 (1億円未満切り捨て)
従業員数	7,702名 (連結)

### 取締役

取締役会長	小川 広通
代表取締役社長	宮下 功
代表取締役副社長	柴山 育朗 CSR部・品質保証部担当 伊藤ハム(株)代表取締役社長
取締役常務執行役員	御園生 一彦 米久(株)代表取締役社長
取締役常務執行役員	大沼 尚人 経理財務部・総務部・人事部担当 伊藤ハム(株)取締役常務執行役員 管理本部長
取締役執行役員	山口 研 伊藤ハム(株)取締役常務執行役員 食肉事業本部長
取締役執行役員	米田 雅行 伊藤ハム(株)取締役常務執行役員 加工食品事業本部長
取締役 (社外)	棟方 信彦
取締役 (社外)	種本 祐子

### 監査役

常勤監査役	藤原 芳士
監査役 (社外)	今村 昭文
監査役 (社外)	市東 康男

### 株式の状況

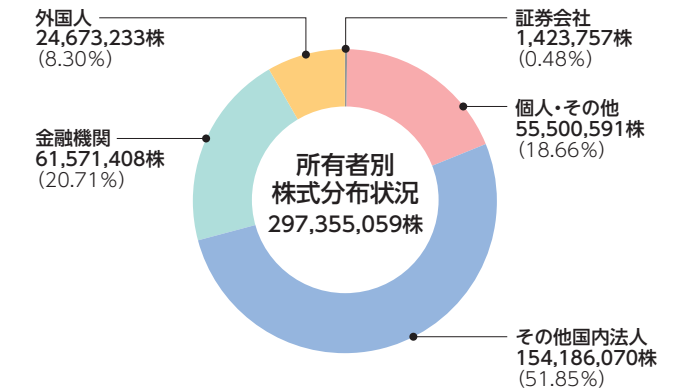
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	297,355,059株
株主数	38,339名

### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
三菱商事株式会社	115,779	38.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	14,475	4.87
公益財団法人伊藤記念財団	12,000	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,726	2.93
エス企画株式会社	8,307	2.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,303	2.12
株式会社三井住友銀行	6,303	2.12
公益財団法人伊藤文化財団	6,200	2.09
株式会社みずほ銀行	5,043	1.70
GOVERNMENT OF NORWAY	2,834	0.95

(注) 上記の持株数は千株未満を切り捨てにて記載しております。

### 株式分布状況



## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を長期間保有していただくため、株主優待制度を導入しております。

2018年3月31日現在の株主名簿に記載された1,000株以上を保有する株主様を対象といたします。

### 対象

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された1,000株以上を保有する株主様を対象といたします。

### 優待内容

5,000円相当の当社グループ商品を贈呈いたします。

### 贈呈時期

2018年6月中旬を予定しております。



※写真はイメージですので、商品の内容は一部変更になる場合がございます。

## CSR報告書のお知らせ



伊藤ハム・米久両社のこれまでの歩みや、CSR活動の取り組みをすべてのステークホルダーの皆様にご理解いただき、よりコミュニケーションを深めるために作成いたしました。また「CSR報告書2017」は、当社ウェブサイトにてご覧いただけます。

<http://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/download.html>



### 株式事務のご案内

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031